

図書館漫遊

●開室時間 9:00~17:00
●休室日 毎週月曜日 TEL・FAX 36-1044

◆幼児向け



いとう ひろし
講談社

『だいたいぶ だいたいぶ』

おじいちゃんと散歩すると、ほくの回りは魔法にかかったみたい。困ったことや、怖いことにも出会います。おじいちゃんは、おまじないのようにつぶやきます。

『おみやげは きょうりゅう』

夏のある日、くま君の家族は海に出掛けました。そこでくま君は、恐竜を見つけ、「もってきたい」と言いました。いったい、何で出来た恐竜かな？

◆小学生向け



つちだ よしはる
あかね書房

◆中～一般向け



アレックス シアラー
ダイヤモンド社

『海のはてまで連れてって』

ほくのお父さんは、豪華客船で働いている。航海の間、ほくと弟は祖父母の家に預けられる。でも今度は違う。弟と一緒に父さんと航海に出ることにした。父さんが働く船に忍び込んで…。

『匂いをかかれる かぐや姫』

「一寸法師」、「かぐや姫」、「桃太郎」を15種類のコンピュータの翻訳ソフトで、英語に自動翻訳。その英文をさらに複数の翻訳ソフトで日本語に再翻訳。どんな昔話ができあがる？

◆一般向け



原倫太郎・原游
マガジンハウス



乳がん受診率は40%

6月21、22の両日、村保健センターで乳がん、子宮けい部の検診が行われました。(写真) 検診対象者は乳がんが484人、子宮けい部がんが501人で、受診者は乳がんが195人で受診率40・3%(前年度比3・3%増)、子宮けい部がんは154人で30・7%(前年度比0・5%増)でした。長根真奈子保健師は「がんになる人が低年齢化しています。若い人も1年に1回は受診するようにしましょう」と話していました。

人KEN守ろうね!

幼児を対象にした人権教室が5月25日、普代児童館(野崎貞信園長、園児60人)で開かれました。教室には宮古人権擁護委員と村人権擁護委員5人が訪れ、子どもたちに友達への思いやりの心を学んでもらおうと「人KENまもる君とあゆみちゃんの世界をシェアせに」を上映しました。最後はみんなで人KENまもる君と一緒に歌を歌いました。(写真)



北緯40度

そぞろある記



真剣に施設を見学

村を理解しようと村内3小学校の3年生26人が6月4日、村内のいろいろな施設を回り、社会科見学を行いました。

役場を訪れた一行は、1階から順番に役場の各課を回って仕事の内容などの説明を受けました。



2階の農林商工課では、中居正農林商工課長が「ここは木や山を守り、米や野菜などを作る人を応援するところです」と説明。「最近クマが多いので、皆さん注意してください」と話しました。(写真) この日児童らは1日かけて久慈消防署普代分署や黒崎展望台、普代ダムなどを見学しました。



皆さんの脚は大丈夫

村教委など主催の「健脚度測定」が6月18日、村B&G海洋センターで開かれ、白井地区のお年寄り13人が脚の健康状態を調べました。教室はお年寄りの転倒や寝たきり予防を目的に開催。皆さんは10分(約道路幅)全力歩行や、バランスチェックのための継ぎ足歩行などを行いました。パスのステップの高さに見立てた40センチの台を上り下りする踏み台昇降測定(写真)では、意外と台が高く、皆さんはきつそうに踏ん張り、それぞれが自分の脚力などを確かめていました。

きれいに磨けたかな

親子で歯の健康を守ろうと歯科健康講座が6月7日、保健センターで開かれました。

講座には普代児童館年長組19人と保護者ら約40人が参加。栄養士や歯科診療所職員、保健師などが紙芝居やスクリーンを使って、歯や食生活の大切さを説明しました。そのうち歯のブラッシング指導では、染め出しという赤い液状のものを歯に塗り、歯垢の付着している部分を確認し、園児たちはゆっくり丁寧に、お母さんたちは仕上げ磨きに真剣に取り組んでいました。(写真) 藤原英世歯科診療所長は「歯磨き、おやつ、ごはんの3つをしっかりできると、大きくなっても健康でいられますよ」と呼び掛けました。

